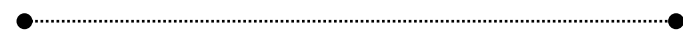


平成 29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	赤ちゃん先生プロジェクト
事業主体 (連絡先)	認定特定非営利活動法人長野サマライズ・センター (0263-52-4148、sama4089@yahoo.co.jp)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,436,400 円 (うち支援金： 1,053,000 円)



事業内容

- 1 障がい児を持つ母親がうちに引きこもるのではなく健常児の母親とともに隔てがなく社会参加ができる子育て地域を目指す。
- 2 ママ講師・赤ちゃん先生、またリーダーを発掘し育成し研修を終えた
ママ講師・赤ちゃん先生を、小中高等学校の授業などの時間に、派遣し命の教育や感謝を持てる心を育てる授業を行う。
- 3 子育て中の女性たちの社会参加の一助とすると同時に、生徒・学生たちに命の尊さを学んでもらい、また先生たちにも癒しの時間を共有する。



【

【目標・ねらい】

- ① 全県に赤ちゃん先生を PR
- ② 新規赤ちゃん先生の育成
- ③ 開催数の増加
- ④ 障がい児のママの参加
- ⑤ 地域の企業や行政と繋がること

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① マスコミ掲載やテレビ取材がされた。
- ② 新たに赤ちゃん先生授業の開催の場が増え、メンバーも増加した。
- ③ 母親が活動を通して居場所や社会との繋がりに気づき自らの子育てにも自信がついた。
- ④ 手話講座など母親が自ら参加する気持ちが芽生え、今後幅広い活動につながる期待が生まれた。

※自己評価 【 C 】

【理由】
実際に、障がい児を持つママたちの、事業参加には至らなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

赤ちゃん先生プロジェクトの持つ、教育効果と、子育て世代の社会での活躍の場の一つとして、開催の機会を増やし、ますます注目を集めていく。それによって、障がい児の有無にかかわらず、生き活きとした子育て期を過ごす女性を増やしていく。また地域の企業や行政との連携を取りより発展していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある